News Release



2023年8月1日

夏休み、体験&学習型イベントを開催 日本では見ることができない1~2歳のウミガメにタッチング 今年は初めてサンゴの実物を展示し、自由研究の相談も可能に

串本海中公園と協力し、子供たちが海や環境のことを考えるきっかけに

図書館機能を中心とする複合施設 「海南nobinos」(和歌山県海南市)は、夏休みの子供や家族に向けた体験&学習型イベントとして、昨年好評だった「ウミガメタッチング」を8月19日、ノビノスホールにて開催します。今年も串本海中公園の協力で、本来日本では見ることができない 1~2歳のウミガメの子供がやってきます。午前と午後の部それぞれ100人が参加し、ウミガメと海の環境のお話を聞いた後、一人ずつウミガメを手に持つ体験をしてもらいます。今年は新たな取り組みとして、より海の環境についての学びを深められるよう、別室でサンゴの模型・標本やパネルを展示し、同公園の森館長が自由研究の相談や質問にも応じます。当イベントが、子供たちが海や環境について考えるきっかけになることを目指します。

■ 家族でウミガメタッチングと記念撮影を楽しむ

ウミガメの産卵地もある 和歌山県の子供たちに、「ウミガメに触れて感じる和歌山の海と環境」をテーマに企画しました。ウミガメは本来、産卵された海岸でふ化した後、太平洋に出て数十年の旅をします。日本に帰ってくるのは大人になってからなので、1~2歳のウミガメは、本当は日本で見ることはできまがやってくる貴重な機会です。はじめに、同公園の吉田副館長による分かりやすいウミガメの講義を実施します。絶滅が危惧されているウミガメ保全の大切さを感じてもらい、みんなでできることを探してほしいとの



願いを込めました。その後一人ずつウミガメを手に持って、その大きさや重さ、手足の形や動きを 実際に体験しながら、家族でウミガメとのふれあいを楽しんでもらいます。会場にはノビノスの所 蔵する自由研究に役立つ海や海洋生物に関する絵本や本なども展示します。

■ 今年は海の生態系を支える「サンゴ」について学ぶ 別室もオープン

昨年は午前・午後の各回150人が参加し、好評の声が多く届きました。しかし「ウミガメをタッチする時間が短かった」という声もあり、今年は応募人数を100人に減らしたところ、1日で定員に達しました。また、今年はより海の環境への学びを深めてほしいと考え、別室の多目的室2で、串本海中公園所蔵のサンゴのパネルや、サンゴの模型・標本、図書館からは関連図書を展示します。美しいだけでなく、様々な生き物たちの生態系を支



えているサンゴは、 海の酸性化、海水温上昇、汚染の影響によってウミガメ同様次々と絶滅危惧種に指定されています。開室中、サンゴの研究者でもある同公園の森館長が自由研究の相談や質問にも応じます。

■ウミガメタッチング ~環境大使のウミガメの子供を、手にのせよう~

日時: 2023年8月19日(土) 午前の部:10時00分開始

午後の部:13時00分開始

場 所 : ノビノスホール (定員254名) 募集人数: 午前の部、午後の部 各100人程度

募集期間: 7月10日(月) 9時 から 8月10日(木) 21時まで

内容:

ウミガメへのタッチングは、家族単位で全員にカメを手に持って貰います。自由に写真をとっていただけます。ノビノスのスタッフが手渡しをします。4列に並んで順番に体験します。 感染症予防のため、幼児を含む全員に手袋を着用してもらいます。(ノビノスで配布)

■「海南nobinos」施設概要

名称:海南nobinos (カイナン ノビノス)

*「のんびりする」「のびのびできる巣」という意

所在地:和歌山県海南市日方1525番地6

Access: JR海南駅より徒歩7分

開館時間:9:00~21:30 休館日:12月29日~1月3日 運営:指定管理者 TRC海南

代表団体:株式会社図書館流通センター(本社:東京都文京区 代表取締役社長 谷一文

子)

構成団体:株式会社明日香(本社: 東京都文京区 代表取締役 萩野吉俗)

: 大揚興業株式会社(本社:和歌山市新通2丁目 代表取締役社長 村

田弘至)

施設内容:①図書館機能/蔵書冊数14万4865冊(うち絵本の冊数5万2659冊)*2023年6月末時点②市民活動・生涯学習活動支援機能/ホール(最大254席)、多目的室×3、会議室×2、音楽練習室×1 ③子育て支援機能/和歌山県内の公共図書館では初の常設有料託児室、乳幼児用の遊び場、屋外広場に隣接する保護者待機室など ④カフェ/スターバックス コーヒー 海南nobinos店(館内は全て蓋つき飲み物の利用可) ⑤広場

■来館者数関西一 "賑わう図書館"

海南nobinosは、図書館機能を核としながらも、ホール・貸館、子育て支援機能を持ち、広場のほ

か、スターバックスコーヒーも出店しています。図書館は、手に取れる冊数としては日本一となる5万冊の絵本を開架し、児童書、一般書、マンガなど親しみやすい図書を中心に揃えています。ぶつかっても怪我をしないクッション性の高い書架や、押し入れのような閲覧席、寝転んで本を読める読書の森や遊具など、遊びながら本に触れ、好奇心を高める工夫を随所に施しています。2020年6月1日の開館以来、図書館に来るきっかけになるようなイベントも多数開催し、年間来館者数は59.7万人と、人



口10万人規模の自治体の公共図書館と比較して関西―となります (日本図書館協会「日本の図書館 統計と名 簿2022」より)。

本件に関するメディアからの問い合わせ先

海南nobinos 指定管理者TRC海南(担当:西岡・森下)

〒642-0002 和歌山県海南市日方1525-6 TEL: 073-483-8739 FAX: 073-483-8738